

東京学芸大学 文部科学省委託
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」
高等学校における日本語指導・体制整備に関する研修

第4回オンライン研修
文化間移動とことばの発達

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別の教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。(各回で参加者を募集します。スケジュールなどは全体の研修計画をご参考ください。)

外国人高校生等も、出身地域・国から日本、そして、日々、家庭と学校・地域の間で文化間移動をしています。第4回オンライン研修では、文化間移動をする子どもたちのことば(母語・日本語等)の発達について検討します。また、内容と日本語の統合学習の方法で実施した授業の報告を通して、思考を促し、自律的に社会参加するための言語教育について考えます。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」(令和4年度)で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通していただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。

(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html>)

◆日時:2023年10月11日(水) 14:30-16:30

◆会場:オンライン(Web会議システム zoom) ◆定員:100名

◆対象:高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

14:30-14:35 開会

14:35-15:05 講義1 「特別の教育課程について」

東京学芸大学 本事業調査部会委員

15:05-15:45 講義2 「文化間移動をする生徒の言語発達」

原瑞穂(上越教育大学)

15:45-15:50 休憩

15:50-16:25 講義3 「東京都立荻窪高等学校の取り組み」

総合的な探究の時間「金融リテラシー」～「JSLカリキュラム」の考え方で

根岸良和・村田友作(東京都立荻窪高等学校)

16:25-16:30 閉会

お申込み

コクチーズよりお申込みください。
<https://www.kokuchpro.com/event/online4/>

お問い合わせ

kudo1015@u-gakugei.ac.jp (担当:工藤)

申込期間:
9月12日～
10月3日